

■施策評価シート 20-01-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	都市形成
基本方針	都市と住環境の質・魅力向上	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-01-①	施策名	土地利用の適切な誘導

施策の概要

都市基盤施設と宅地の一体的な整備を進めるとともに、都市計画法等に基づく指導等を行うことにより、適切な土地利用の誘導を図ります。

成果指標(単位)	「都市と住環境の質・魅力向上」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	17.0	18.0	19.0	20.0
実績値	16.3	21.2	19.4	19.5	

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、「都市と住環境の質・魅力向上」に満足している市民の割合は、前年度に比べ0.1ポイント増加し、目標値を達成することができた。開発審査等の手続きを適正に進め、適切な土地利用の誘導を図った結果、都市と住環境の質や魅力に対する市民の一定の評価が表れたものとする。

施策の達成度評価

法令に基づき一定規模以上の土地の売買にかかる届出事務を行うことで、適正かつ合理的な土地利用の確保・誘導を図ることができた。また、草津市開発行為の手続および基準等に関する条例、規則などに則った開発審査事務を行うことで、良好な環境の確保と調和のとれた土地利用がなされるよう努めることができた。引き続き、法令等に則って適正に届出や申請がなされるよう周知していく必要がある。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

引き続き、土地取引にかかる届出事務や開発審査事務などを通じて、適正かつ合理的な土地利用の確保・誘導や良好な環境の確保と調和のとれた土地利用に努め、持続可能な都市構造を実現、維持していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
土地取引届出勧告事務	都市計画課	○	国土利用計画法の届出制度は、適正かつ合理的な土地利用の確保を図るため、一定規模以上の土地取引について、取引段階での審査を行うものであり、令和5年度は16件の届出について、内容確認および県への経由事務を適正に行うことができた。
開発審査事務	開発調整課	○	開発行為許可申請に対して、草津市開発行為の手続および基準等に関する条例、規則等に則しているかを審査した。それらを経て、令和5年度においては88件の開発行為を許可し、良好な環境の確保と調和のとれた土地利用がなされるよう努めることができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
地籍調査事業	土木管理課
特定旅館建築規制事務	建築政策課
土地区画整理事業	都市計画課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 20-01-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	都市形成
基本方針	都市と住環境の質・魅力向上		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-01-②	施策名	良質な住宅資産の形成	

施策の概要

長期優良住宅等の良質で安全な新築住宅の供給促進に加え、既存住宅の適切な維持管理やリフォーム促進により良質な住宅ストックを形成することにより、次世代にも継承される住宅資産への転換を進め、良質な住宅の安定供給・有効活用を図ります。

成果指標(単位)	住宅地などの住まいの環境がよいと感じている市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	72.0	73.0	74.0	75.0
実績値	71.1	69.1	70.4	69.8	

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、住まいの環境のよさを感じている市民の割合は、前年度より0.6ポイント減少し、目標値を達成することができなかった。今後は、引き続き約2割の「どちらとも言えない」と感じている市民の満足度向上が課題であり、良質で安全な住宅への改修を促進する等、住まいの環境のよさを高める施策を推進する必要がある。

施策の達成度評価

新たな住宅ストックの形成は進んでいるものの、長期優良住宅等の良質な住宅の確保は未だ十分とは言えず、今後も市民等への普及啓発が必要である。また、老朽化した住宅や耐震基準を満たさない住宅、空き家等について、解体や補強、有効活用の促進を行う必要がある。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

住宅・住環境の「量」から「質」への転換に向け、引き続き耐久・耐震・省エネ性等に優れた長期優良住宅等の普及促進や、既存住宅の適切な維持管理およびリフォームの促進を行う。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
建築物等確認事務	建築政策課	○	建築確認申請に適正に対応する等、特定行政庁としての事務を遂行した。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
改良住宅譲渡推進事業	市営住宅課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 20-01-③

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	都市形成
基本方針	都市と住環境の質・魅力向上	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-01-③	施策名	空き家等の対策の推進

施策の概要

空き家等の適正管理や有効活用の促進により、防災・衛生・景観等の生活環境への影響を抑制するとともに良好な住環境を確保していくための対策の推進を図ります。

成果指標(単位)	都市と住環境の質・魅力向上に重要性を感じている市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	49.0	50.0	51.0	52.0
実績値	47.8	57.3	56.6	57.8	

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、都市と住環境の質・魅力向上に重要性を感じている市民の割合は、前年度より1.2ポイント増加し、昨年度に引き続き目標値を大幅に達成することができた。
草津市空き家等対策計画に基づき、空き家等の発生抑制や適正管理、利活用の促進についての啓発活動等に積極的に取り組んだ結果が、都市と住環境の質・魅力向上に重要性に対する市民意識の向上に寄与したと考える。

施策の達成度評価

草津市空き家等対策計画に基づき、空き家等の発生抑制や適正管理、利活用の促進に関する啓発活動や空き家所有者等に対する助言指導等を積極的に行った。
また、空き家等所有者や管理者の資産活用や譲渡等に関する意識づけへ繋げる取組として、住宅の相続セミナーを開催するとともに、県内不動産団体と連携し課題を抱えた空き家所有者に対する相談員派遣事業を実施した。

評価に基づいた令和7年度取組についての考え方

令和6年3月改定の草津市空き家等対策計画に基づき、引き続き空き家等の発生抑制や適正管理、利活用の促進に関する啓発活動や空き家所有者等に対する助言指導等を積極的に行う。
また、空き家等所有者や管理者の資産活用や譲渡、居住段階からの空き家化予防に関する意識づけに繋げる取組として、住宅の相続セミナーの開催や住宅の維持管理等に関する住教育の普及促進を行う。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
住宅政策推進事業	建築政策課	○	空き家等の発生抑制や適正管理、有効活用の促進についての啓発活動等に積極的に取り組んだ。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 20-02-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	都市形成
基本方針	まちなかの魅力向上と地域再生の推進	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-02-①	施策名	にぎわいのある市街地の形成

施策の概要

市民が生き生きと輝き、安心して暮らすことができるコンパクトでにぎわいあるまちを目指すため、公共空間の活用による都市魅力の構築、歴史的まちなみや地域資源の活用、交流の促進等により、歩いて暮らせるまちづくりを進めます。

成果指標(単位)	“まちなか”に魅力があると感じる市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	37.0	38.0	39.0	40.0
実績値	35.2	38.9	41.7	45.7	

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、“まちなか”に魅力があると感じる市民の割合は前年度に比べ4.0ポイント増加し、目標値を達成した。新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和もあり、草津川跡地公園などまちなかの公共空間を活用した多彩なイベントの開催が評価されたものとする。

施策の達成度評価

草津まちづくり株式会社が実施しているイベント等を通じて公共空間の使い方が認知されはじめたこともまちの魅力向上につながったものとする。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

「(仮称)草津駅周辺エリア未来ビジョン」と「エリアプラットフォーム」の運用を進め、市民や事業者などが主役となった民主導のまちづくりを推進し、人中心のウォークアブルな空間として、公共空間の活用を進め、“まちなか”の滞在快適性を向上させる事業を推進する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
中心市街地活性化推進事業(土木費)	都市地域戦略課	○	中心市街地での各種イベントにより、公共空間の使い方を示せたことで、“まちなか”の魅力を向上することができた。
都市計画推進事業	都市計画課	○	「草津市立地適正化計画」の中間見直しの実施や「草津市都市計画マスタープラン」等に基づき、各種事業を実施した結果、コンパクト・プラス・ネットワークに向けたまちづくりを推進することができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
都市計画審議会運営事務	都市計画課
都市計画推進事務	都市計画課
市街地街づくり推進事業	都市地域戦略課
都市計画推進事業	都市地域戦略課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 20-02-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	都市形成
基本方針	まちなかの魅力向上と地域再生の推進	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-02-②	施策名	地域の特性と資源を活かした地域再生の推進

施策の概要

新たな交流の創出、生活機能の確保や産業の振興等、さらなる活性化を図るため、郊外部における地域の特性と資源を活かします。

成果指標(単位)	まちなかの魅力向上と地域再生の推進に満足している人の割合(%) (志津・老上・老上西・山田・笠縫・笠縫東・常盤学区)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	15.9	16.9	17.9	18.9
実績値	14.9	17.1	19.1	15.9	

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、「住まいと住生活の魅力向上に満足している人の割合(志津・老上・老上西・山田・笠縫・笠縫東・常盤学区)」は、前年度から3.2ポイント減少し、目標値を下回っており、学区毎の満足度においても、老上学区を除いた6つの学区について目標値に届かない結果となった。要因として各学区での地域再生の取組が住民に十分に見える化出来ていないことが考えられるので、学区毎のまちづくりプランの見直し過程で、地域再生の取組内容を地域に共有していく必要があると考える。

施策の達成度評価

市街化調整区域における地区計画制度を活用することで、令和5年度に常盤学区に新たな商業施設がオープンするなど、生活拠点の形成が進んだものの、各学区の地域の特性や資源を活かすための取組を、地域と行政が協働で行う体制が十分ではなかったため、事業の効果が発現せず、住民の満足度を高めることにつながらなかったと考える。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

行政と地域が協働し、地域が掲げる学区のまちづくりプランに基づく活動が円滑に行えるよう体制を整え、地域課題の解決や、地域の特性と資源を活かした取組を、地域でより一層取り組んでもらえるように支援し、必要に応じてまちづくりプランの見直しを行いながら、地域再生の推進を図っていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
地域再生推進事業	都市地域戦略課	△	各学区のまちづくりプランに基づく取組は推進できたものの、成果指標実績が目標値に達することができなかったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 20-03-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	都市形成
基本方針	良好な景観の保全と創出	基本方針に関連するSDGsの目標	11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさを保ち増進する 17 パートナリシップで目標を達成しよう
施策番号	20-03-①	施策名	自然的・歴史的景観の保全と活用、都市景観の形成

施策の概要

景観形成重点地区の活用等により、豊かな自然景観や歴史文化の薫るまちなみの保全・活用、心地よさを感じる都市景観の創出に取り組み、ふるさと草津の心を育む景観形成を図ります。

成果指標(単位)	「良好な景観の保全と創出」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	22.0	23.1	24.2	25.3
実績値	20.9	19.0	17.3	19.5	

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、「良好な景観の保全と創出」に満足している市民の割合は、目標値に達することができなかったが、前年度より2.2ポイント増加した。
景観計画や屋外広告物条例に基づく指導に加え、東海道草津宿本陣通りにて実施するファサード補助制度の推進などで歴史的まちなみ景観への誘導支援を図ってきたこと、また、大津市との連携施策として視点場の整備や東海道統一案内看板設置など、琵琶湖の眺望景観や東海道の歴史景観の保全・活用にむけた取組を継続してきた。

施策の達成度評価

草津市景観計画に基づく届出により、景観形成基準に適合する建築物および工作物に制限することで、自然景観・歴史景観・都市景観の形成を進めることができた。また、景観形成重点地区における基準に基づき、建物や工作物の新築・改修の際により質の高い整備を求めることから、それに係る経費を補助し、歴史街道の景観形成に継続して取り組む必要がある。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

景観計画に基づく指導、ファサード補助制度を進めることで、景観形成重点地区の活用を推進する。また、大津市と策定したびわこ東海道景観基本計画に基づき、次期景観計画改訂作業を進める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
屋外広告物管理事務	都市計画課	○	屋外広告物の適正な管理と効率的な事務を行い、文書・口頭による申請指導や是正指導を進めた。
景観を生かしたまちづくり推進事業	都市計画課	○	景観計画に基づく指導等を進めることで、良好な景観形成を進めた。また、次期景観計画の骨子をまとめ、景観計画改訂作業を進めた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。